

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2010-171893(P2010-171893A)

【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2009-14583(P2009-14583)

【国際特許分類】

H 04 W 72/10 (2009.01)

H 04 B 1/713 (2011.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 5 5 7

H 04 J 13/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月20日(2012.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の通信装置が使用する通信チャネルを決定する決定装置における通信チャネル決定方法であって、

第1の決定手段が、前記複数の通信装置の負荷情報に基づいて通信チャネルを設定する通信装置の優先順位を決定する第1の決定工程と、

割り当て手段が、前記第1の決定工程において決定された優先順位に従って通信装置に通信チャネルを割り当てる割り当て工程と、

を有することを特徴とする通信チャネル決定方法。

【請求項2】

前記割り当て工程では、同一の通信チャネルを割り当てた通信装置の間で互いの信号が受信できない場合には該同一の通信チャネルを使用し、何れか一方の通信装置でも受信した場合には前記負荷情報に基づいて他の通信チャネルを割り当てる特徴とする請求項1に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項3】

前記割り当て工程では、同一の通信チャネルを割り当てた通信装置の間で互いの信号が受信できない場合には該同一の通信チャネルを使用し、何れか一方の通信装置でも受信した場合には他の通信装置の信号の受信レベルに基づいて他の通信チャネルを割り当てる特徴とする請求項1又は請求項2に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項4】

前記割り当て工程では、前記複数の通信装置に対して同一の通信チャネルを設定し、他の通信装置からの信号の受信状況を調べさせ、該同一の通信チャネルで受信できるか否かを判定し、判定の結果に基づいて前記通信装置に通信チャネルを割り当てる特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項5】

前記割り当て工程では、他の通信装置の稼働スケジュールを参照し、稼働する時間が重なっていなければ、同一の通信チャネルを割り当てる特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項 6】

前記負荷情報は、単位時間内の通信量、接続端末数、通信種別、通信内容、QoSカテゴリの少なくとも何れかの情報に基づいて判定されることを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項 7】

前記負荷情報を所定時間毎に更新し、定期的にチャネル割り当ての再配置を行うことを特徴とする請求項1乃至6の何れか1項に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項 8】

第2の決定手段が、通信チャネルの優先順位を設定する第2の決定工程を更に有し、

前記割り当て工程では、前記通信装置の優先順位と前記通信チャネルの優先順位とに基づいて、通信チャネルを割り当てる特徴とする請求項1乃至7の何れか1項に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項 9】

管理外の通信装置が使用している通信チャネルがある場合、当該通信チャネルの割り当て優先順位を下げる特徴とする請求項1乃至8の何れか1項に記載の通信チャネル決定方法。

【請求項 10】

複数の通信装置が使用する通信チャネルを決定する決定装置であって、

前記複数の通信装置の負荷情報に基づいて通信チャネルを設定する通信装置の優先順位を決定する決定手段と、

前記決定手段によって決定された優先順位に従って通信装置に通信チャネルを割り当てる手段と、

を有することを特徴とする決定装置。

【請求項 11】

請求項1乃至9の何れか1項に記載の通信チャネル決定方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 12】

請求項11に記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正2】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0011****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0011】**

本発明は、複数の通信装置が使用する通信チャネルを決定する決定装置における通信チャネル決定方法であって、

第1の決定手段が、前記複数の通信装置の負荷情報に基づいて通信チャネルを設定する通信装置の優先順位を決定する第1の決定工程と、

割り当て手段が、前記第1の決定工程において決定された優先順位に従って通信装置に通信チャネルを割り当てる割り当て工程と、

を有することを特徴とする。